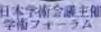



危機に瀕する学術情報の現状とその将来
 日時：平成29年5月18日（木）13:00～18:00
アクセス：日本学術会議（東京都港区六本木7-22-34）東京メトロ千代田線「乃木坂駅」下車5番出口
 （青山道徳方面）より徒歩1分
 お申込み：日本学術会議ウェブサイト（<https://form.cao.go.jp/scj/opinion-0003.html>）にて
 平成29年5月17日（木）17時までにお申込み下さい。参加無料、定員20名、先着順
 お問い合わせ先：日本学術会議事務局 企画課学術フォーラム担当、電話：03-5403-6295


 日本学術会議主催
 学術フォーラム

趣旨説明

日本学術会議第三部会員、東北大学電気通信研究所
大野 英男

- 経緯
- 学術情報の現状
- 学術情報の将来

後援 ●文部科学省 ●大学共同利用機関法人情報・システム研究機構 ●国立情報学研究所
 ●大学図書館コンソーシアム連合（JUSTICE） ●国公立大学図書館協力委員会 ●国立大学協会

1. 経緯（1）

平成22年（2010年）8月
提言「学術誌問題の解決に向けて－「包括的学術誌コンソーシアム」の創設－」

平成23年（2011年）4月
国公立大学等図書館による大学図書館コンソーシアム連合（JUSTICE）が発足。「日本の大学における教育・研究活動に必須である電子ジャーナルをはじめとした学術情報を、安定的・継続的に確保して提供するための活動を推進」

平成26年（2014年）8月
文部科学省 ジャーナル問題に関する検討報告書「大学等におけるジャーナル環境の整備と我が国のジャーナルの発信力強化のあり方について」

平成28年（2016年）7月
提言「オープンイノベーションに資するオープンサイエンスのあり方に関する提言」

最終的な契約は個別の大学と出版社が行っているが、JUSTICEは出版社と事前に交渉し成果を挙げている。しかしこの間も電子ジャーナル契約の高額化が進行。

平成28年（2016年）4月
部会で電子ジャーナルについて議論。幹事会タスクフォースでフォローアップ。学術フォーラム開催へ。

1. 経緯（2）

「危機に瀕する学術情報の現状とその将来」

－学術情報の現状－

- 学術情報の電子化がもたらした光と影
- 何が「危機」なのか
- 学術情報へのアクセスと研究者から見た状況
- 大学そして大学経営から見た状況

－学術情報の将来－

- 出版社の立場から
- 文部科学省の立場から
- オープンサイエンスへ向けて

2. 学術情報の現状（1）

- 学術の自主性、自律性、公開性を保障
- 学術情報の電子化
 - 電子ジャーナルなどにまつわる光と影
 - 電子ジャーナルがもたらしたもの
 - 学術情報に関わる費用
(投稿、購読、データ利用)
 - 学術界の「文化」と学術情報の商業化

2. 学術情報の現状 (6)

• 学術情報の出版、購読、分析

税金で大部分がまかなわれている研究の成果を、出版、購読、分析（被引用数からaltmetricsまで）するのに、各段階で費用が発生する。（←→リポジトリ、オープンアクセス）

オープンアクセスではAPC (Article Processing Charge) が発生。APCは研究費から支払われており全容は不明。

APCの例：Nature Communications (IF=11.3), 661,500円（若手Bの2016年度平均が1,304,000円）

• 高額なジャーナルは必要か、分野の「文化」か

「被引用はリンクをたくさん張るとスコアが上がるウェブのランキングと同じ」

2. 学術情報の現状 (7)

JUSTICE
ユーストリス

文部科学省 研究振興局 ジャーナル問題に関する検討会
第1回配布資料 平成26年3月26日(水)

学術雑誌の価格上昇の要因と言われる事柄

- ✓ 論文数の増加 → 流通コストの増大
- ✓ 市場の特殊性
 - 代替品が存在しない特殊な商品
 - 競争が成立しない特殊な市場
- ✓ モラルハザード
 - 費用を直接負担しない消費者の消費は過剰になる
消費者（研究者）と費用負担者（大学→大学図書館）が異なる
→ 消費者の要求は増大
→ 費用負担者は値上がりしても可能な限り購読を継続
- ✓ 商業出版社への依存状態
 - 研究者や学協会（研究者コミュニティ）の商業出版社への依存（→流通コストの増大）

平成26年3月26日

3. 学術情報の将来

衡平なコスト分担によるエコシステム

- バックファイル
- ナショナル・サイト・ライセンス
- オープンアクセス、オープンデータ、オープンサイエンス
- 「公正な研究活動」で10年のデータ保管
- 研究のプロセス全体をサポート